

中運交企第191号  
令和6年3月21日

中津川市公共交通会議  
会長 渡邊 卓 殿

中部運輸局長  
(公印省略)

令和4・5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】  
中部運輸局交通政策部 交通企画課  
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	中津川市公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

## 二次評価結果

### 評価できる取組

- ・令和5年10月に自動運転バス「付知bin」の実証実験やシンポジウム「自動走行と山林都市」を開催され、リニア岐阜県新駅の波及効果も見据えた議論・検討がされていることを確認しました。
- ・利用率の低い福岡地区と付知地区において、乗って知ってもらうことを第一段階と捉え、1ヶ月の無料定期券を22人に配布し延べ40人が定期券を利用され、新規利用者獲得の支えとなったことを評価します。
- ・神坂スマートIC工事にともない、市街地に向かう公共交通が無くなることから、コミュニティバスの路線を延伸し、神坂地区と落合地区をつなぐ路線に再編されたことを評価します。
- ・高校生バスの通学補助金を拡充し、新たな定期券利用者の確保につながったことを評価します。

### 期待する取組

- ・コミュニティバス無料定期券の配布については、その後の公共交通利用に係る行動変容につながったかなどの効果検証を通じ、その検証結果が今後の取組に活用されることを期待します。
- ・観光客の利用者数が馬籠線において増加しており、この増加が他路線の利用増加にもつながるよう検証・分析の上、更なる増加等に向けて検討・実施されることを期待します。
- ・福岡・阿木地区の学生によるバス・電車通学が増加しているため、必要に応じ、バス待ち環境の改善等について、学生の声に耳を傾けて取り組まれることを期待します。
- ・落合地区コミュニティバスの利用者の減少傾向に対し、今後、地域の声を踏まえた再編等に取り組まれ、ニーズの高い目的地に行けるルート設定や路線バスへの乗り継ぎの円滑化などにより利便性の向上につながることを期待します。
- ・コミュニティバスの利用者増加に向けて、利用者のニーズに合わせることに加えて、各地区の魅力も合わせてPRされることを期待します。
- ・リニア岐阜県新駅に係るアクセス交通のあり方について、引き続き、関係機関との検討を進めることを期待します。